

# NARA FUTSAL LEAGUE 2023 (Div.1/2)

## 大会実施要項

- ◇主催： 一般社団法人 奈良県サッカー協会 奈良県フットサル連盟
- ◇主管： 一般社団法人 奈良県サッカー協会 奈良県フットサル連盟
- ◇協賛： 株式会社モルテン、株式会社アクラム

### ◆ 参加条件 ◆

1. 本大会ならびに奈良県フットサル連盟および関係事業の運営に協力出来るチームであること。  
(会場設営/撤収・帯同/派遣審判・記録係・ボールパーソン・会場担当・コロナ感染防止対策等)
2. 2023年度JFAフットサルチーム登録(「フットサル第1種/2種」→『フットサル連盟』)の手続きを済ませた選手で構成され、奈良県又は他のフットサル連盟のチームに重複していない者(選手・帯同審判員)に限る。  
※第二審判登録の場合はこの限りでない  
※JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル1種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。  
尚、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル2種」のみとし、「フットサル1種」年代の選手は適用対象外となる。
3. 奈良県フットサル連盟の本会員で、規約及び要項を遵守する登録人数8名以上24名以下、役員上限6名(ただし、通訳がチームに登録されている場合7名)のチームに限る。  
※Div.2所属チームは役員を含め7名以上で良いものとする。  
外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
4. 選手は2008年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。  
チーム内に必ず20歳以上のものが1名以上在籍し、必ず連絡が取れる体制である事。  
18歳未満の選手は保護者の同意があるものとする。
5. 代表者は成人で当該チーム(関係者含む)を指導掌握し、言動(SNS等含む)に責任を負うことの出来る者である事。
6. チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。
7. 奈良FA所属フットサル審判員を3名以上帯同できるチーム  
(4名以上推奨・F3級が1名以上必須)。
8. スポーツ傷害保険等に必ず加入する事。
9. WEB会議が可能なインターネット環境(インカメラ・通信設備等)がある事。
10. PDF,Excel,Wordなどのデータ資料を閲覧・編集・出力(印刷)出来る事。
11. こまめに確認できるメール受信環境がある事
12. 参加チームと選手は、JFAの基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。  
詳細については、ホームページを参照すること。(http://www.jfa.jp/)

### ◆ 競技方法 ◆

1. (公財)日本サッカー協会「フットサル競技規則2022/23」を基に、一部ローカルルールを適用する。  
本大会中に競技規則改定された場合は、大会運営側で適用の時期を決定した後、適用する。
2. Div.1(1部)/Div.2(2部)混成9チーム  
1回戦総当たりリーグ戦

40 分間(各 20 分間からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイム  
ハーフタイム(HT)のインターバル:10 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで)

累積出場停止:警告 2 回

不測の事態により試合が打ち切られた場合は、その時点での戦績を試合結果とし、試合中の懲戒罰は消滅しないものとする。

リーグ戦の成立は 70%以上とし、本年度は 26 試合以上の終了をもって成立とする。

3. リーグ戦の順位決定方法は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。

勝ち点:勝ち3点、引分け1点、負け0点。

但し、勝ち点合計が同じの場合は、以下の順序により順位を決定する。

①得失点差

②総得点数

③当該チーム間の対戦成績

④下記に基づく警告・退場のポイントがより少ないチーム

i) イエローカード1 枚 1 ポイント

ii) イエローカード2 枚によるレッドカード1 枚 3 ポイント

iii) レッドカード1 枚 3 ポイント

iv) イエローカード1 枚に続くレッドカード1 枚 4 ポイント

⑤Div.1所属を上位

⑥抽選

4. 選手は役員(コーチ等)登録として兼ねることを認めるが、ベンチ入りはどちらかに限定する。  
(監督を除き選手からは TO 取れない)

※大会登録上の記載は以下の役職のみとする。

監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター・通訳

5. ベンチに入ることができる人数:13 名以内(交代要員 9 名以内・役員 4 名以内 ※通訳時+1名)

※ベンチ登録者は観戦者との会話を制限する。

6. 外国籍選手は登録ベンチ入りを 3 名までとし、試合中コート内に 2 名までとする。

7. 各チームから規定の試合に事前に指定された人数を役割として出す。

①審判資格保持者:主審(原則 F3 級以上)・第 2 審判・第 3 審判・タイムキーパー

※主審は原則 F3 級以上の審判員が担当とする

(F3 級取得を目指す審判部推薦がある者はこれに限らない)

②マッチコミッショナー(MC):事前に指定の講習を受けた者

③会場担当係/記録係/ボールパーソン(BP)/シューズチェッカー(SC)/会場受付

④その他必要に応じた役割

8. ボールの空気圧は海面の高さの気圧で、0.7(700g/cm<sup>3</sup>)とする。

9. 大会中退場を命じられた者は、次の試合には出場(ベンチ入り)出来ない。

以後の処分は大会規律委員会で処分を決定する。

出場停止者はピッチ・ベンチなどに立ち入ることを制限する。

MCM 後のピッチには、その試合に登録された選手及び役員以外は立ち入ることを制限する。

※ベンチ入りメンバー以外のピッチウォーミングアップは不可

出場(ベンチ入り)停止処分・当該試合中に退場した者は、チーム席での観戦を認めず、関係者席でのみ観戦を許可する。

10. GK がケガや体調不良等によりプレー続行が出来なくなり、登録者がいなくなった場合は、

主審(または大会運営側)が許可した物を FP が着用し、試合を続ける事を可能とする。

例:シャツを裏返し・FP サブシャツ・GK サブシャツ・黒ビブス等

11. 試合開始(出場)前のレフリーチェックは必ず受けなければならない。(試合前ブザーを目安とする)

開始時刻になっても、競技者が GK を含み5名に満たなかった場合は、当該チームを棄権とみなす。

各チームチェック終了(最後の人が終了)以降はキックオフ以降に対応とする。

12. 競技中(HT 含)の飲水は規定の場所で水のみとし、その容器(スクイズボトルかペットボトルのみ)は個人専用と区別出来るもののみ使用を可能とする。水筒は不可とする。  
HT に限り、所定の場所でのみ、ゼリー飲料やタブレットなどを摂取することが出来る。  
ベンチへの飲食物持ち込みは厳禁とし、発見次第処分の対象とする。  
試合終了後には必ず清掃を行い、**ゴミは必ず持ち帰ること。**  
※各チームで掃除用具を用意(雑巾・タオル・ウエットティッシュ等)  
※体育館のモップは使用しない。
13. 練習・試合中を問わず、意図的にボールを壁・備品等にぶつける行為(跳ね返り目的含む)を禁止する。  
器物に対し損壊の恐れのある行動は程度により不正行為とし、懲戒の罰則を与える。
14. 競技中(HT 含)にベンチから離れる必要がある場合は、事前に審判の許可を得るものとする。
15. 競技中(HT 含)にピッチレベルでスマートフォン/携帯電話等の使用や直接耳に当てて外部と通話する行為は禁止とする。ただし負傷時等緊急の場合を除く。(スマートウォッチは可)
16. 電子機器における音(アラーム音)や音楽を流す行為は禁止とする。

#### ◆ 重要事項 ◆

1. メンバー表・登録証・張り番等の提出は前試合キックオフ後の(第1試合は該当時刻)MCM 時とする。
2. 写真登録済の選手証または登録選手一覧を不携帯の場合、当該試合への出場を認めない事がある。  
※紙に印刷されたものとし、顔写真が判別出来ないと判断された場合は試合に出場出来ない場合がある。
3. 原則メンバー表提出受理後の訂正・追加は出来ないものとする(不測の事態時における先発変更を除く)。
4. 登録追加及び変更は規定(別紙参照)に従い奈良県フットサル連盟に申請し、  
許可を受けた者のみベンチ入り/出場することができる。
5. 参加チーム各選手は、選抜チーム選出対象とする。
6. リーグ運営遵守事項については、「奈良県フットサル罰則規定」(別紙参照)に準じて対処する。

#### ◆ M C M (マッチコーディネーションズミーティング) ◆

チーム代表者(当日ベンチ入りする者)は、

- ① ユニフォーム・ビブスまたはユニフォーム確認表(確認表は事前に大会運営本部の承認が必要)
- ② 写真登録済のカラー印刷された選手証または登録選手一覧 ※顔写真の大きさ(上3分身)
- ③ メンバー表(指定用紙)・ボールペン類
- ④ 保険加入書類(コピー可)・・・初戦で確認(追加登録選手はその都度提出)
- ⑤ その他必要なもの(張り番・ユニフォーム広告掲示申請書/許可書のコピー・クラブ申請許可書等)

以上を持参して、前試合キックオフ迄(第1試合は該当時刻)に指定場所に集合する。

遅刻の場合 → ユニフォーム決定権(ホーム優先権)消滅

張り番 → 不備があった場合はレフェリーチェックまでに改善。

メンバー表記載内容と相違があった場合は処分の対象とする。

(例:各申請事項・選手番号・ビブスの色等)

試合当日に不測の事態があった場合の救済処置は運営役員の判断・MC 決定とする。

#### ◆ 表彰 ◆

1. 主催者より、下記授与とする。

表彰状 … 優勝・準優勝・3位

得点王 … トロフィーならびに副賞

ベスト5 … トロフィー

最優秀審判員賞 … 記念品

2. Div.1 所属の最終成績 1 位チームで、フットサル C 級以上ライセンス保持者と F3 級審判員 2 名を

帯同可能(期日までに取得見込含む)で、規律/運営ができる等、奈良県フットサル連盟の推薦されたチームは県代表として、関西フットサルチャレンジリーグ 2023 に参加する権利を得る(義務は状況により考慮)。予定日:2024年2月12日(月祝)@大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)(大阪)、17日(土)@加古川市立総合体育館(兵庫)

3. Div.1 所属の最終成績 2 位チームは県代表として、第 10 回近隣府県フットサル交流戦に参加する権利を得る(義務は状況により考慮)。2024 年 3 月予定。
4. 本年度の成績ならびに関西昇降格の結果及び F3 級審判員帯同状況等を基に次年度の Div.1/2 所属編成を決定する。

#### ◆ ユニフォーム ・ 用具 ◆

1. ユニフォームは JFA『ユニフォーム規程』に則り、シャツ・ショーツ・ソックスの統一された、FP/GK 正副合計 4 種類用意を基本とし、異なった背番号が着いている事。  
本競技会に登録したユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。但し、試験的に下記 3 項目を緩和事項とする。
  - ①FP・GK のショーツ登録(用意)は各 1 色でも良い。
  - ②ショーツ・ソックスを 2 種類登録の際、1 色は FP と GK が同色でも良い。
  - ③ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色かつ大会運営側が認める場合は着用することができる(ビブス等は不可)。事前に必ず使用確認をする事。
2. 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
3. GK は FP と異なった 2 色の識別出来るシャツを着用。
4. FP の 1 番については、つけることが出来ない。
5. FP の副は白を基調推奨とするが、他色にする場合は連盟と事前協議にて決定
6. アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色(単色)のものを着用する。
7. アンダーショーツおよびタイツ/ロングタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色(単色)のものを着用する。
8. ソックスにテープまたはその他の材質のもの(サポーター等)を貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。(ソックスは膝まで上げる)
9. ソックスの破れ等によってすね当てが見えることがあってはならない。  
その他、**ユニフォーム類の破れ等によって危険であると判断されるもの**はチームで対応するものとする。
10. GK のユニフォームについて、ショーツ・ソックスは試合開始時点より FP と同じでも良いものとする。
11. 袖・丈の長さについては色・デザイン上統一されているものであれば、関与しない。  
※アンダーシャツ(またはアンダーショーツ)着用時は袖(または丈)と同色(単色)のものを着用する。
12. 主審(または大会運営側)は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
13. 前項の場合、主審(または大会運営側)は、両チームの登録ユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ・ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することが出来る。
14. 広告表示については、『ユニフォーム規定』に基づき承認された場合のみこれを認める。  
大会当日に必ず『ユニフォーム広告掲示(回答)』『申請書』のそれぞれコピーを持参・携帯する。  
尚、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出の経費は当該チームにて負担する。
15. 競技者・交代要員は自身のビブスを人数分必ず用意し、適切に管理すること。  
※ビブス 2 種類保持義務(各シャツと明確に異なる 2 色 ※2021 シーズン継続チームの色は猶予)
16. 張り番(貼り番号)は 4 辺を全て縫い付け、主審(または大会運営側)の許可を得たもののみ使用を認められる。  
布及び番号の色彩はユニフォームと同色を原則とする。

17. ベンチ入り役員は競技者のシャツ・ビブスと明確に異なる色(上衣)を着用し、相応しくない服装でのベンチ入りは原則認めない。※カジュアルな格好・Gパン・スカート・ピアス等の貴金属類×
18. 靴はキャンバス、または柔らかい皮革製で、体育館用シューズかインドアフットサルシューズ/トレーニングシューズで、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、底裏接地面が鉛ゴム色・白色・無色透明のいずれかに限る。接地面にメーカーロゴ等上記以外のある場合も認めない。劣化の際も同様とする。接地面が着色されたものでもノンマーキングのシューズであり且つ施設側が認めれば、着用可。(スパイクシューズは使用できない)  
会場が屋外の場合は、(サッカー)スパイク以外のシューズの使用を認める。
19. 指輪・ピアス・ネックレス・ミサンガ等の装身具とみなされるもの、その他不必要なもの・危険と判断されるものを着用した状態では、当該試合に出場できない。  
※ファスナー・ポケット・長過ぎる爪・付け爪・爪に装着したビーズ等は不可、ボタンは留めない場合使用可。
20. ヘアバンドについては単色、ノーメーカー、ノーマークのみに限る。
21. その他、用具に関して当該試合の審判員の裁量に一任し、認められたものは使用することが出来る。

#### ◆ 会場内の服装 ◆

1. 更衣室の利用を原則とし、周囲に配慮した一般モラルを遵守とする。
2. 会場外・試合前後以外での『ユニフォーム』『審判服』シャツの上着なし着用は禁止する。
3. 会場敷地内移動・ピッチ上(アップ・割り当て等運営時含む)においては、インナーのみ(袖がないもの含む)・裸足は禁止する。移動の際は、「袖があるもの」が望ましい。

#### ◆ コロナ感染症対策 ◆

1. 来場者は、下記に限定する。  
当日体調不良等が無い者
2. 衣類・タオル等は観客席に干したり放置しない事

#### ◆ 審判 ◆

1. Div.1/Div.2 所属チームは F3 級審判員の帯同を義務づける(2 名以上推奨)。  
Div.2 所属チームで F3 級審判員の帯同確認及び F3 級審判員昇級意思の確認を行い、2022 年度の 1 年間を猶予期間再延長とし、その期間内に帯同出来なかった場合は、2023 年度は連盟に審判派遣費用を支払う事とする。2023 年度内に F3 帯同出来ない場合は Div.1 所属資格を失効する。  
ただし、新規参入チームは 1 年間を限りに猶予とする。(所属 2 年目には帯同)

#### ◆ 付則 ◆

1. ウォーミングアップは原則 30 分前(前試合終了後)からボールを使用可とし、それまではストレッチ等のみ許可。前の試合終了が遅れた場合は前試合終了時点から 20 分後キックオフを目安とする。  
ピッチ以外でのボールの使用を禁止する。※前 HT または試合開始 30 分前からのみ  
使用ボールは体育館用が望ましく、人工芝やゴムチップ類を持ち込まない事
2. 割当を他チームに依頼をする際は運営側に必ず報告するものとする。  
チームに割り振りされた役割は、穴をあけないようにし、難しい場合は早めに他チームと調整する事。  
期日厳守。原則運営側で調整等は一切行わない。不履行により影響を及ぼした場合は処分の対象とする。
3. 試合時に水、HT 中にゼリー飲料・タブレット(熱中症対策として)以外の飲食物持ち込みや飲み歩きを発見次第、処分の対象とする。
4. 氷のうを使用していない氷はベンチに持ち込めない。
5. ピッチ上(割当中・ベンチ内含む)に試合に不要な装身具/電子機器類は持ち込み禁止する。  
※必要な場合は事前申請するものとする。
6. 試合直前に写真撮影等をする場合は、メンバー票提出時に事前申請するものとする。

7. 試合終了チームは速やかに退出をする。観客席に挨拶をする場合は先にベンチを空けるものとする。
8. MC は事前に指定の講習を受けた者だけが担当出来る(各チームから事前に3名以上名簿提出)。

◆ その他 ◆

1. チームは一般的なマナーを遵守し、ゴミは必ず持ち帰り、施設でのマナー等規則を守る事。
2. 飲食及び喫煙は、所定の場所でしかできない事とする。
3. **ゴミは施設内で購入したものも含め、全て必ず持ち帰る。**  
**施設内ゴミ箱にゴミを捨てたり放置して帰るのを発見次第、処分の対象とする。**
4. 駐車禁止区域に駐車しないこと。駐車許可証がある車に限り、指定の駐車区画に駐車出来る。  
※各チーム原則 5 台  
制限時:最大 4 台。必要に応じ駐車場係を配置する。
5. 応援旗掲示等はメンバー票提出時に事前申請するものとし、当該試合の前試合終了時から、当該試合終了までの掲示(原則自チームスペース)とする。
6. 観客席のセンターライン上付近にてビデオ撮影する場合、1 名のみ待機・撮影を許可する。  
※撮影は試合途中でのベンチ入り者との入れ替わりは認めない。  
※撮影は事前に所定の手続き・許可を必須とする。  
※フラッシュ使用(撮影)は禁止とする。
7. 代表者会議に無断欠席・無断遅刻した場合は、当該チームの処分を大会規律委員会(理事会)にて協議・決定とする。
8. 練習・競技中の傷病、会場備品等の賠償等が生じた場合は、各チームで事前に傷害保険等に加入しておき主催者、施設側への責任を一切追求しない事。主催者側は一切の責任を負わない。
9. チームは試合終了時に公式記録の確認をし、当該試合で起きた事項(物損報告等)に関しては、当該試合の MC に報告・連絡・相談とする。大会運営本部には MC からの報告のみを受付とし、その他の方法は一切受け付けない。
10. 大会運営本部に何か報告・連絡・相談がある場合は奈良県フットサル連盟事務局へのメールのみを受付窓口とし、電話・SNS・理事への個別対応は原則受け付けない。  
ただし、緊急の場合のみ、大会運営本部への直接連絡のみは例外とする。
11. 試合延期調整について
  - ①新型コロナウイルス感染(当該試合日の 1 週間以前にチーム内での発症・発熱、感染者との濃厚接触等、家庭内・学校・職場等での発生等)影響により、試合が困難な場合、事前に連盟事務局へ連絡を行い、試合を延期調整する事とする。別紙新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに準ずる。
  - ②その他疫病・天変地異の場合も前項に準じて対応する。
  - ③双方のチームの責めに帰すべき事由によらず、不可抗力による中止となり、荒天等含め代替え日が設定出来ない場合は 0-0 の引き分け扱い(双方のチームに勝ち点 1 ずつ)とする(表記:▽0-0)。
12. その他違反に関しては、大会規律委員会(理事会)決定とする。

以上、上記以外の諸事項・違反・不適切な言動(SNS 等含む)のあったチームの処置・その他不測の事項(リーグ編成等)については、連盟理事会において協議決定する。

上記事項遵守できないチームは、除名する場合がある。

尚、肖像権に関する権利等は、全て本大会ならびに奈良県フットサル連盟に帰属する。

また、上記にはローカルルールも含まれている為、他大会参加時は各チームで責任を負うものとする。